

「日頃の備え」と「早めの避難」いのちを守る防災情報

大雨、地震……。土砂災害は身近な災害です。まさかに備え、わたしたちの家のまわりの危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。

土砂災害ってどんなもの？

土砂災害とは、がけ崩れ、土石流、地すべりのことをいい、勾配の急な山やがけ、溪流のある地域に発生します。土砂災害のほとんどは、雨や地震に起因して突然発生します。特に長雨や大雨の場合は、大量の水分が地中にしみ込み、その量が多いほど斜面の土が弱くなり、災害の発生する可能性が高くなります。このため、災害が発生する恐れのある区域を予め把握し、大雨などの際には気象情報の収集を行い、身の危険を感じたら早めの避難を心がけてください。

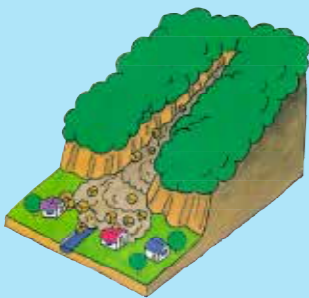
土石流

あっという間に、大きな石や土砂がおそってくる。

▼土石流って知っている？

山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と混ざり合って、津波のようにおそってくるものを、土石流といいます。土石流の先頭の部分は、大きな石や岩、流木などが集まって小山のようにもり上がっています。その早さは、時速20キロメートルから40キロメートルと、自動車なみのスピードです。なかには家の数倍もある大きな岩がまじったものもあり、すさまじいスピードで、あっという間に家や田畑をつぶし、おし流してしまいます。土石流による災害は、急な谷川があるところや、谷の出口にある扇形の「扇状地」とよばれる土地でよくおこります。また土石流は、スピードが速いために、人命にかかわる大きな災害になることが多いのです。

渓床勾配が1/30(2°)以上で、土石流が発生した場合、人家などが被害を被る危険がある渓流を土石流危険渓流といいます。土石流による被害を防ぐために、砂防えん堤が作られています。



看板でお知らせしています。

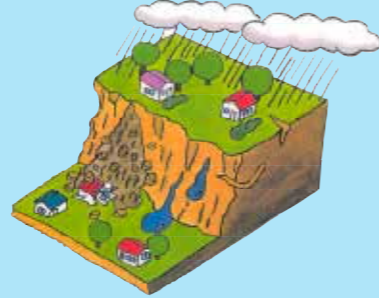
がけ崩れ

とつぜん、岩や土砂がガラガラと落ちる。

▼がけ崩れってどんなもの？

がけ崩れは、斜面がとつぜん崩れ落ちる災害です。崩れた土砂は、斜面の高さの2倍くらいの距離までとどくことがあります。がけ崩れは、地震や、大雨や長雨で地面に水がしみこんで起きますが、地すべりとちがうところは、前ぶれがあまりなく、とつぜん起き、スピードが速いことなどです。家の近くで起けると、逃げおくれる人が多く、たいせつな人命が失われたり、家がこわされたりします。あぶないと感じたら、できるだけ早くひなんする心がまえが大切です。

勾配30°以上、高さ5m以上の急傾斜地に面する人家などが、がけ崩れの被害を被る危険があるところを急傾斜地崩壊危険箇所といいます。この箇所のうち、法律で指定されたものを急傾斜地崩壊危険区域といいます。がけ崩れによる被害を防ぐために、壁を造って土砂を受け止める、よう壁工などのがけ崩れ対策工事が行われています。



看板でお知らせしています。

▼こんなときは注意しよう

- 山鳴りがする
- 急に川の流れが濁り流木が混ざっている
- 雨がふり続けているのに川の水位が下がる
- 腐った土の臭いがする



こんな所が危険です！

- 谷川に大きな石がごろごろあるところ。
- 裏山に急な谷川があるところ。
- 過去に谷を流れた土石流が谷の出口のところに堆積してきた扇状地のところ。

▼こんなときは注意しよう

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がぼらぼらと落ちてくる
- がけから木の根が切れる等の音がある



こんな所が危険です！

- がけにひび割れが発生しているところ。
- がけの上部がせり出しているところ。
- 急ながけが高いところ。
- がけから水がわき出したり、がけの表面が水が流れているところ。

土砂災害から身を守るには！

①土砂災害危険区域を確認する

●区域の確認をしましたか？

ハザードマップでお住まいの場所が、危険な区域に入っているのか確認を行い、避難に役立てましょう。

- ★ハザードマップで区域を確認しましょう。
- ★土砂災害からの避難は「風雨が強まる前に土砂災害危険区域から出る」事です。
- ★気象に関する情報・避難に関する情報・土砂災害情報をキャッチしましょう。

< 情報収集方法 >

テレビを使った情報収集

テレビリモコンの「dボタン」を押すと、データ放送が閲覧できます。10分ごとの降水量、河川水位、気象情報、避難に関する情報を見ることができ



同報無線を使った情報収集



市は、気象や避難に関する情報を、同報無線でお伝えしますが、豪雨時に野外スピーカーから聞き取ることは困難です。「防災ラジオ」や「市民メール」をご活用ください。

パソコンを使った情報収集



静岡県地理情報システム
主題地図名：土砂災害警戒情報
<https://www.gis.pref.shizuoka.jp/?mp=9004-1&>

②避難のタイミングを決める

●警戒レベルを理解しよう！

市民が情報の意味を直感的に理解できるよう、防災情報を5段階の警戒レベルにより提供し、とるべき行動の対応を明確化しました。

静岡県土木総合防災情報
サイボスレーダー (SIPOS-RADAR)
県内の最新の防災情報を発信するインターネットサイト。リアルタイムの河川の水位・雨量・気象情報、洪水情報・土砂災害警戒などの防災情報を発信しています。QRコードよりご利用ください。PCアドレス <http://sipos.pref.shizuoka.jp/>

静岡県総合/静岡県防災
防災アプリ/静岡県防災
豪雨等による災害発生前の避難行動を促す各種緊急情報の通知をはじめ、平常時の災害への備えとして、ハザードマップの確認、防災知識の習得や避難トレーニングなど、災害から命を守るために、役立つ機能を幅広く備えたアプリです。
※QRコードより総合防災アプリ「静岡県防災」サイトにアクセスできます。

警戒レベル4で全員避難!!

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。

警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4
心構えを高める (気象庁が発表)	避難行動の確認 (気象庁が発表)	避難に時間を要する人は避難 (市から発令)	全員避難!!
安全な場所へ避難 (市から発令)			

【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

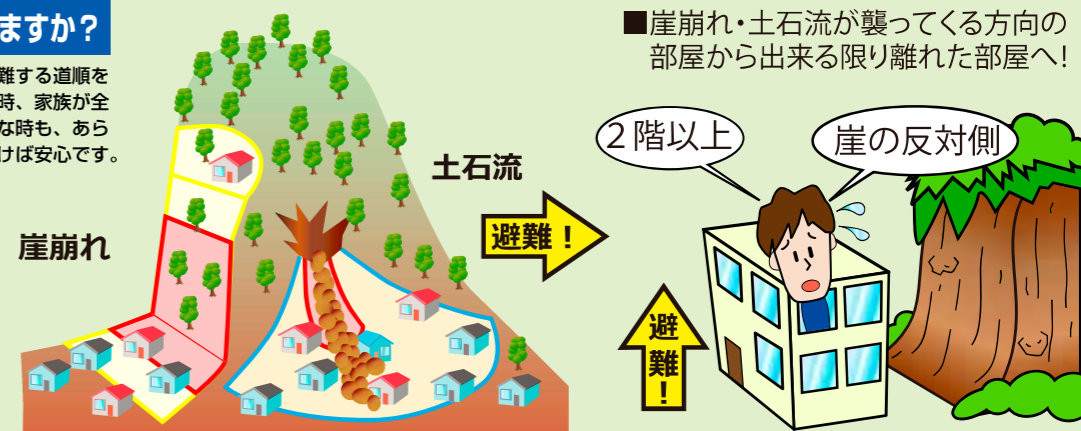
③避難先を決める

●避難場所は決まっていますか？

普段から家族全員で、避難場所・避難する道順を決めておきましょう。災害が起きた時、家族が全員一緒にいるとは限りません。そんな時も、あらかじめ避難場所をみんなで決めておけば安心です。

- 親戚・知人宅
- 公民館
- 指定避難場所へ避難

土砂災害危険区域の外へ避難！



■ 崖崩れ・土石流が襲ってくる方向の部屋から出来る限り離れた部屋へ!

2階以上

崖の反対側